

第2 総務企画班

1 管内及び沖縄県の人口（令和5年度版から前年度の数値を掲載）

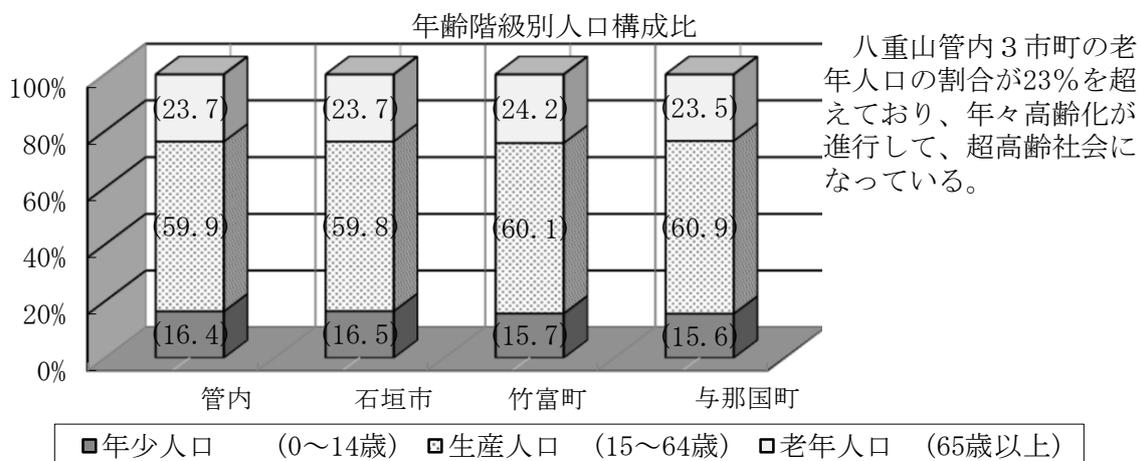
(1) 世帯数及び人口

(令和5年9月末現在)

	世帯数	人 口			年齢階級別人口		
		総数	男	女	年少人口 (0～14歳)	生産人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
管 内	29,068	55,226	28,087 (50.9)	27,139 (49.1)	9,067 (16.4)	33,055 (59.9)	13,104 (23.7)
石垣市	25,543	49,306	24,956 (50.6)	24,350 (49.4)	8,140 (16.5)	29,484 (59.8)	11,682 (23.7)
竹富町	2,537	4,241	2,187 (51.6)	2,054 (48.4)	665 (15.7)	2,548 (60.1)	1,028 (24.2)
与那国町	988	1,679	944 (56.2)	735 (43.8)	262 (15.6)	1,023 (60.9)	394 (23.5)

出典：八重山管内世帯数・人口は、「住民基本台帳」(各市町)より。

※下段は構成比(%)。

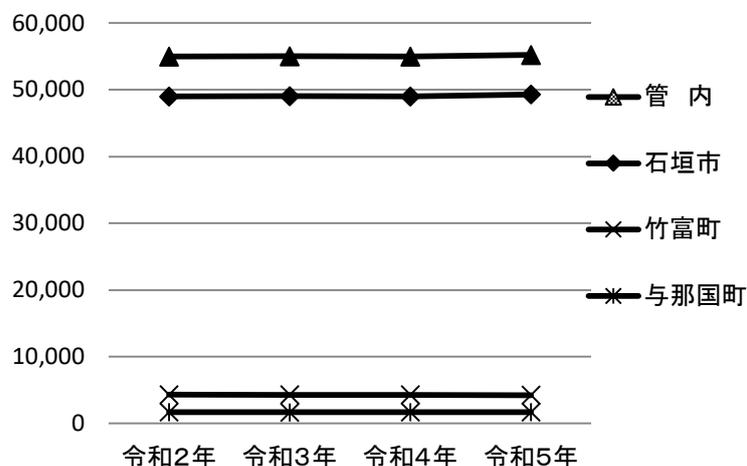


(2) 人口の年次推移

	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
沖縄県	1,458,839	1,459,886	1,468,634	1,468,375
管 内	54,994	55,016	54,979	55,226
石垣市	48,986	49,050	49,001	49,306
竹富町	4,312	4,297	4,279	4,241
与那国町	1,696	1,669	1,699	1,679

出典：沖縄県人口は、「沖縄の統計」(沖縄県統計資料WEBサイト)より。

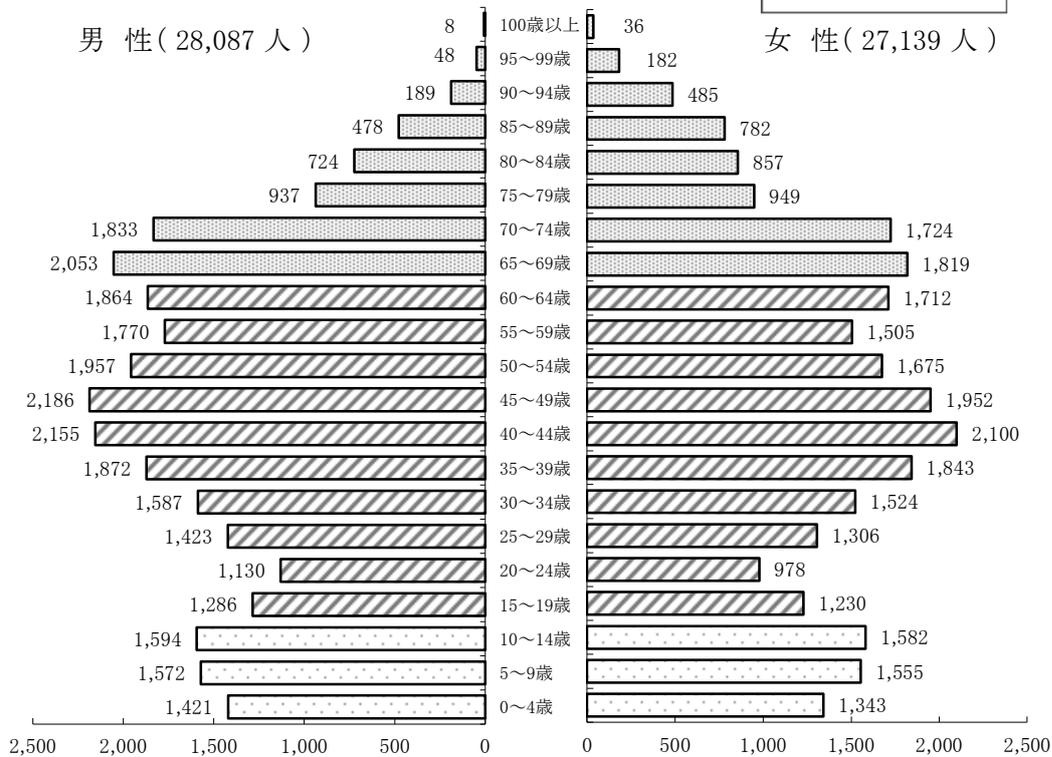
管内人口は、「住民基本台帳データ」(各市町)より。



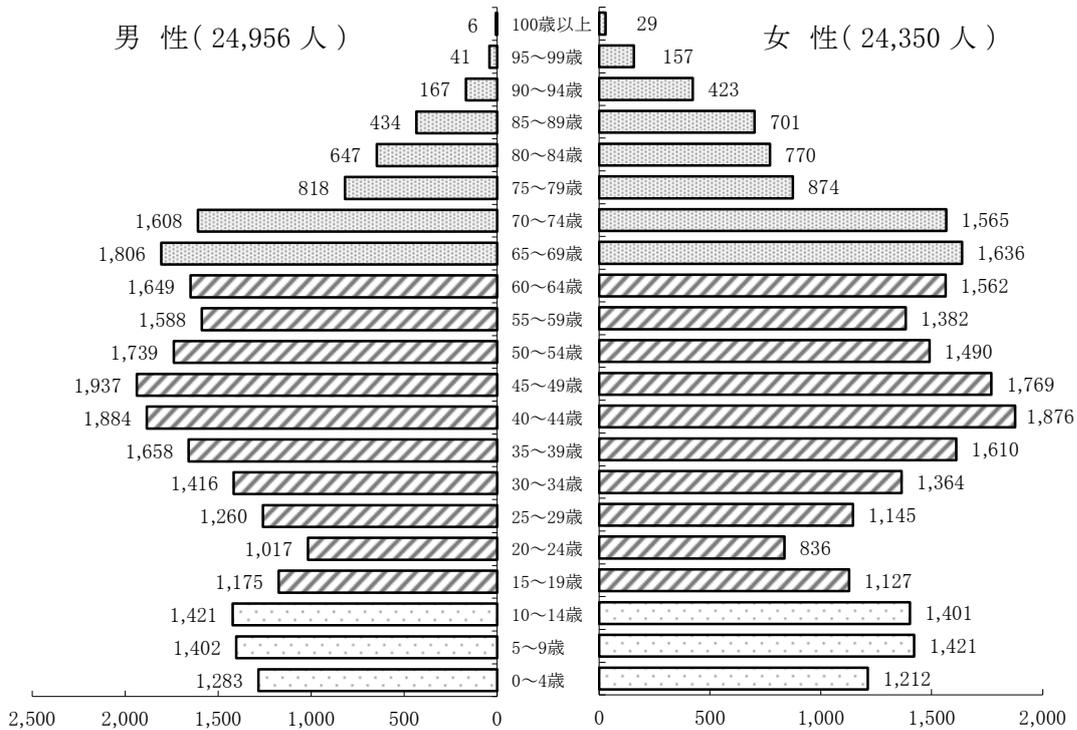
出典：上表と同じ。

(3) 年齢階級別人口構成 (令和5年9月末現在)

ア 八重山管内

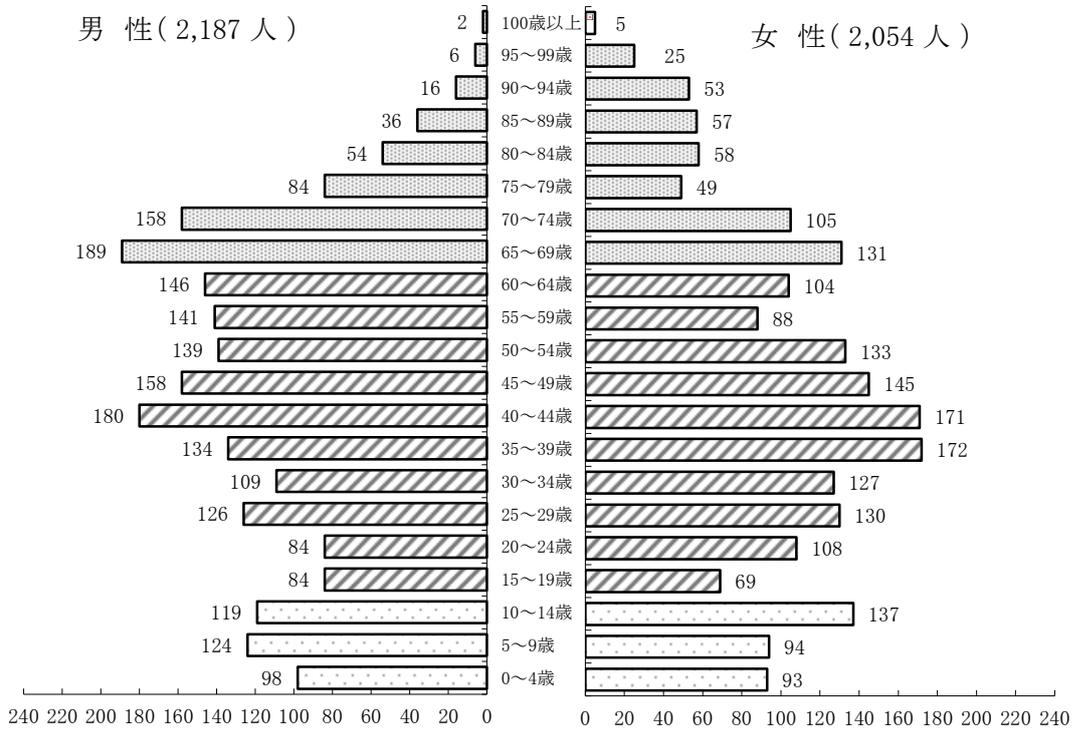


イ 石垣市

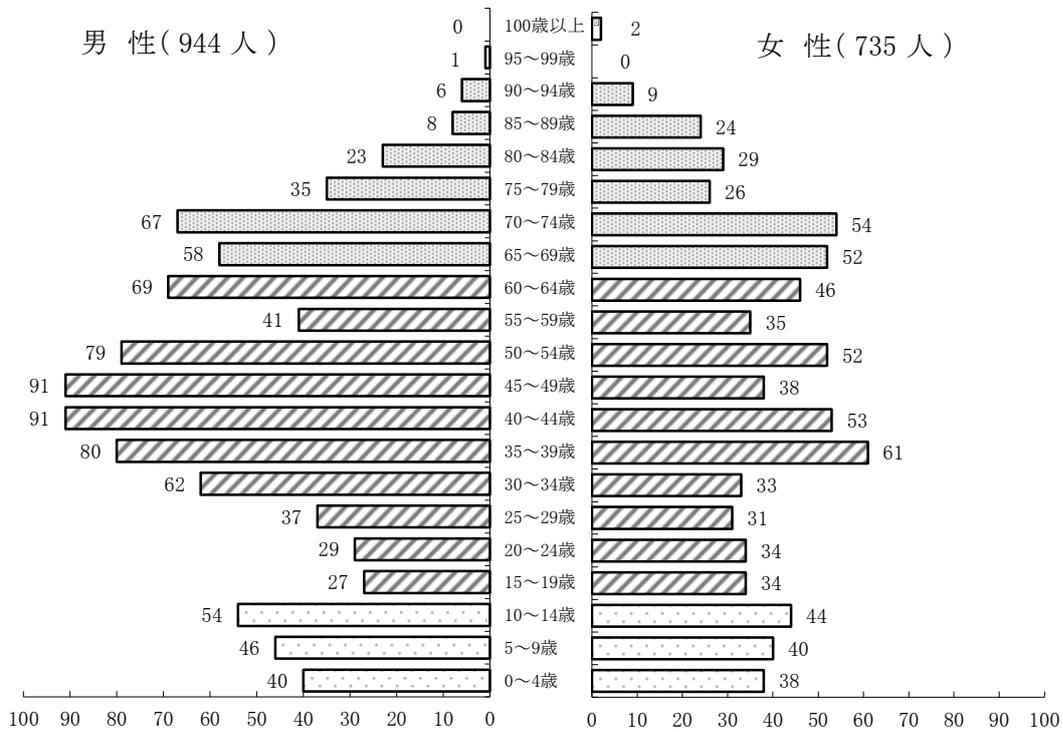


出典：管内人口は、「住民基本台帳データ」(各市町)より。

ウ 竹富町



エ 与那国町



出典：同左頁と同じ。

2 人口動態

(1) 人口動態統計とは

人口動態統計は、出生・死亡・婚姻・離婚及び死産の「人口動態事象」について、その実態を明らかにするために、各届出書によって作成された人口動態調査票を取りまとめたものである。(令和5年度版から前年度の数値を掲載)

用語の解説

自 然 増 加	出生数から死亡数を減じたもの
低 体 重 児	生まれた時の体重が2,500グラム未満の新生児
乳 児 死 亡	生後1年未満の死亡
新 生 児 死 亡	生後4週(28日)未満の死亡
早期新生児死亡	生後1週(7日)未満の死亡
死 産	妊娠満12週(妊娠第4月)以後の死児の出産。死児とは、出産後において心臓はく動、随意筋の運動及び呼吸のいずれをも認めないもの。
自 然 死 産 と 人 工 死 産	人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに人工的処置(胎児又は附属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用)を加えたことにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。 1) 胎児を出生させることを目的とした場合 2) 母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合
周 産 期 死 亡	妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡をあわせたもの

比率の解説

$$\textcircled{1} \quad \text{出生・死亡・婚姻・離婚率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\textcircled{2} \quad \text{自然増減率} = \frac{\text{年間出生数} - \text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人口}} \times 1,000$$

$$\textcircled{3} \quad \text{乳児死亡・新生児死亡・周産期死亡・早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間事件数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\textcircled{4} \quad \text{死 産 率} = \frac{\text{年間死産数(自然・人工・不明)}}{\text{年間出産数(出産+死産)}} \times 1,000$$

$$\textcircled{5} \quad \text{低体重児率} = \frac{\text{年間低体重児数}}{\text{1年間の出生数}} \times 1,000$$

(2) 人口動態総覧

令和5年

	八重山管内				石垣市				竹富町				与那国町				沖縄県		全国	
	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率	男	女	計	率	実数	率	実数	率
出生	257	211	468	8.5	226	189	415	8.4	25	17	42	9.9	6	5	11	6.6	12,549	8.5	727,288	5.8
再掲	26	28	54	115.4	21	28	49	118.1	5	0	5	119.0	0	0	0	0.0	1,518	121.0	70,151	9.6
死亡	333	267	600	10.9	296	238	534	10.8	25	20	45	10.6	12	9	21	12.5	15,110	10.3	1,576,016	12.7
再掲	0	1	1	1.7	0	1	1	1.9	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	22	1.5	1,326	0.8
再掲	-	-	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	9	0.6	600	0.4
死産	-	-	6	12.7	-	-	5	11.9	-	-	1	23.3	-	-	0	0.0	312	24.3	15,534	20.9
再掲	-	-	3	6.3	-	-	2	4.8	-	-	1	23.3	-	-	0	0.0	165	12.8	7,152	9.6
再掲	-	-	3	6.3	-	-	3	7.1	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	147	11.4	8,382	11.3
周産期死亡	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	29	2.3	2,404	3.3
再掲	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	22	1.8	1,943	2.7
再掲	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	-	-	0	0.0	7	0.6	461	0.6
婚姻	-	-	268	4.9	-	-	237	4.8	-	-	26	6.1	-	-	5	3.0	6,316	4.3	474,741	3.8
離婚	-	-	140	2.5	-	-	122	2.5	-	-	12	2.8	-	-	6	3.6	3,170	2.2	183,814	1.5

出典：率計算に用いた全国の人口は、「人口推計(令和6年4月12日)」(総務省統計局)より。

管内の人口動態総覧実数は、「令和5年(2023)沖縄県人口動態統計(確定数)の概況」(沖縄県HP)より。

管内の出生(低体重児)は、「調査票情報(人口動態統計)」(厚生労働省)より。

管内人口は、「住民基本台帳データ」(各市町)より。

※率は全て千分率(‰)。

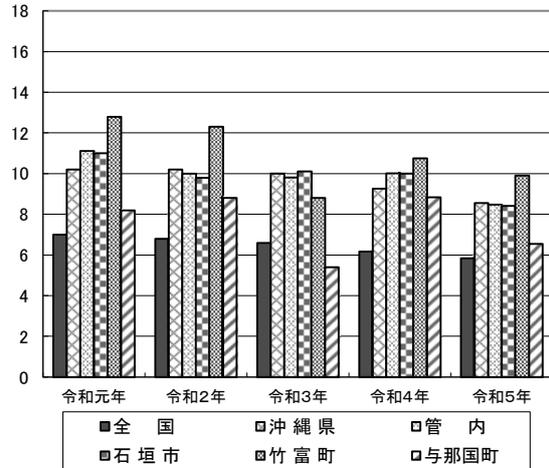
(3) 出生率の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	7.0	6.8	6.6	6.2	5.8
沖 縄 県	10.2	10.2	10.0	9.3	8.5
管 内	11.1	10.0	9.8	10.0	8.5
石 垣 市	11.0	9.8	10.1	10.0	8.4
竹 富 町	12.8	12.3	8.8	10.8	9.9
与那国町	8.2	8.8	5.4	8.8	6.6

※率は全て千分率(‰)。

出生率=年間出生数/10月1日現在日本人口×1,000

出生率の年次推移



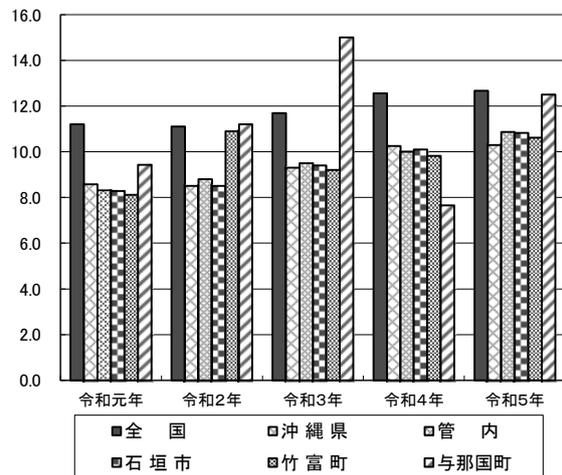
(4) 死亡率の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	11.2	11.1	11.7	12.6	12.7
沖 縄 県	8.6	8.5	9.3	10.3	10.3
管 内	8.3	8.8	9.5	10.0	10.9
石 垣 市	8.3	8.5	9.4	10.1	10.8
竹 富 町	8.1	10.9	9.2	9.8	10.6
与那国町	9.4	11.2	15.0	7.7	12.5

※率は全て千分率(‰)。

死亡率=年間死亡数/10月1日現在日本人口×1,000

死亡率の年次推移



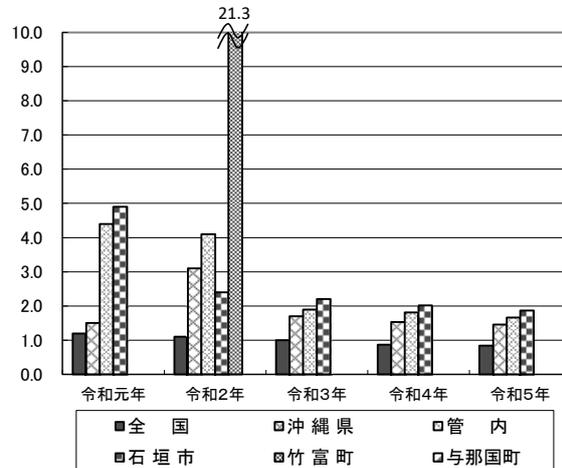
(5) 乳児死亡率の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8
沖 縄 県	1.5	3.1	1.7	1.5	1.5
管 内	4.4	4.1	1.9	1.8	1.7
石 垣 市	4.9	2.4	2.2	2.0	1.9
竹 富 町	0.0	21.3	0.0	0.0	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(‰)。

乳児死亡率=年間乳児死亡数/年間出生数×1,000

乳児死亡率の年次推移



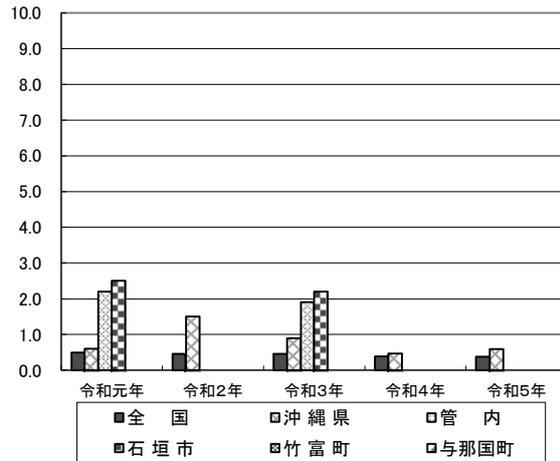
(6) 新生児死亡率の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	0.5	0.5	0.5	0.4	0.4
沖 縄 県	0.6	1.5	0.9	0.5	0.6
管 内	2.2	0.0	1.9	0.0	0.0
石 垣 市	2.5	0.0	2.2	0.0	0.0
竹 富 町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
与那国町	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※率は全て千分率(‰)。

新生児死亡率=年間新生児死亡数/年間出生数×1,000

新生児死亡率の年次推移



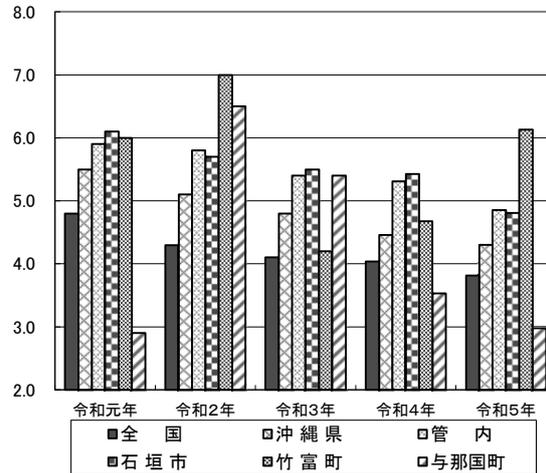
(7) 婚姻率の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	4.8	4.3	4.1	4.0	3.8
沖 縄 県	5.5	5.1	4.8	4.5	4.3
管 内	5.9	5.8	5.4	5.3	4.9
石 垣 市	6.1	5.7	5.5	5.4	4.8
竹 富 町	6.0	7.0	4.2	4.7	6.1
与那国町	2.9	6.5	5.4	3.5	3.0

※率は全て千分率(‰)。

婚姻率=年間婚姻届出件数/10月1日現在人口×1,000

婚姻率の年次推移



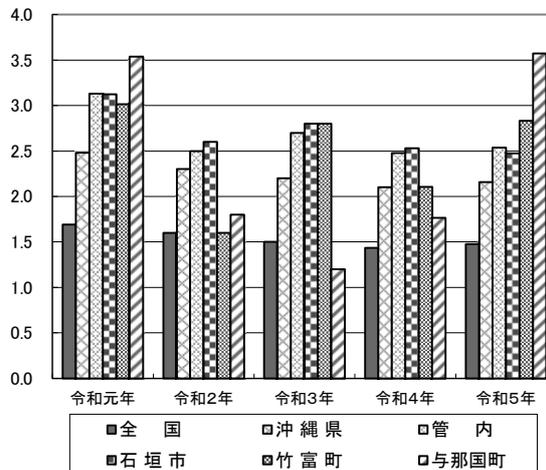
(8) 離婚率の年次推移

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
全 国	1.7	1.6	1.5	1.4	1.5
沖 縄 県	2.5	2.3	2.2	2.1	2.2
管 内	3.1	2.5	2.7	2.5	2.5
石 垣 市	3.1	2.6	2.8	2.5	2.5
竹 富 町	3.0	1.6	2.8	2.1	2.8
与那国町	3.5	1.8	1.2	1.8	3.6

※率は全て千分率(‰)。

離婚率=年間離婚届出件数/10月1日現在人口×1,000

離婚率の年次推移



3 死亡統計

(1) 管内の死因順位

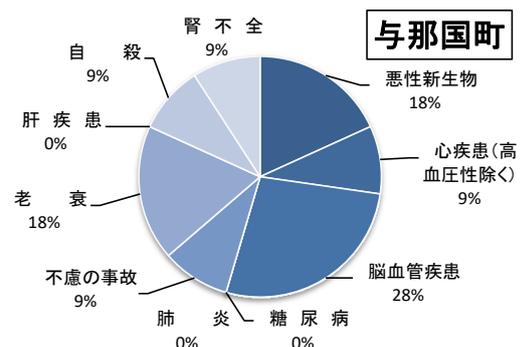
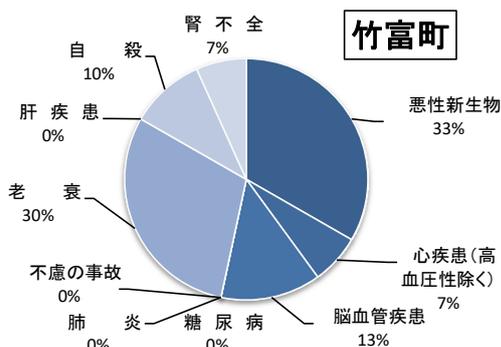
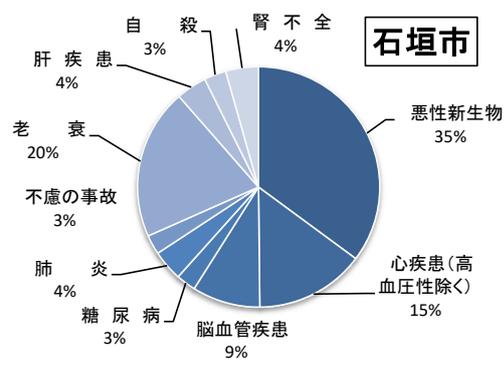
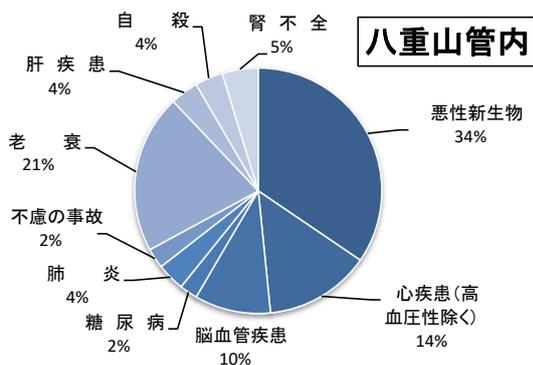
	1 位			2 位			3 位		
	死因	実数	率	死因	実数	率	死因	実数	率
令和5年	悪性新生物	132	22.0	老衰	80	13.3	心疾患	53	8.8
令和4年	悪性新生物	130	21.7	老衰	83	13.8	心疾患	64	10.7
令和3年	悪性新生物	123	23.5	老衰	73	13.9	心疾患	51	9.7
令和2年	悪性新生物	139	26.5	心疾患	66	12.6	老衰	54	10.3
令和元年	悪性新生物	117	25.6	心疾患	52	11.4	老衰	40	8.8

※死因分類表中分類項目を表記

出典：「令和5年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より。

(2) 令和5年市町村別主な死因

	八重山管内			石垣市			竹富町			与那国町		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
悪性新生物	132	87	45	120	78	42	10	7	3	2	2	0
心疾患(高血圧性除く)	53	26	27	50	24	26	2	2	0	1	0	1
脳血管疾患	38	18	20	31	14	17	4	3	1	3	1	2
糖尿病	9	6	3	9	6	3	0	0	0	0	0	0
肺炎	14	9	5	14	9	5	0	0	0	0	0	0
不慮の事故	10	8	2	9	8	1	0	0	0	1	0	1
老衰	80	19	61	69	18	51	9	1	8	2	0	2
肝疾患	14	11	3	14	11	3	0	0	0	0	0	0
自殺	14	10	4	10	6	4	3	3	0	1	1	0
腎不全	18	11	7	15	8	7	2	2	0	1	1	0
計	382	205	177	341	182	159	30	18	12	11	5	6



出典：「令和5年人口動態調査保管統計表」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より。

4 合計特殊出生率

(1) 合計特殊出生率とは

合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

(2) 算出方法

県の合計特殊出生率と同様に5歳ごとの年齢階級別に算出する。

$$\text{合計特殊出生率} = \left(\frac{\text{母が15歳～19歳の出生数}}{\text{15歳～19歳の女性人口}} + \dots + \frac{\text{母が45歳～49歳の出生数}}{\text{45歳～49歳の女性人口}} \right) \times 5$$

(3) 令和5年八重山管内の母の年齢階級別出生数及び女性の年齢階級別出生率

年齢階級	母の年齢階級別出生数				女性の年齢階級別出生率			
	管内	石垣市	竹富町	与那国町	管内	石垣市	竹富町	与那国町
15～19歳	1	1	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
20～24歳	49	47	2	0	0.05	0.06	0.02	0.00
25～29歳	97	86	9	2	0.07	0.08	0.07	0.06
30～34歳	174	155	14	5	0.11	0.11	0.11	0.15
35～39歳	109	98	9	2	0.06	0.06	0.05	0.03
40～44歳	37	27	8	2	0.02	0.01	0.05	0.04
45～49歳	1	1	0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
総数	468	415	42	11	0.32	0.32	0.30	0.29

出典：母の年齢(5歳階級)別出生数は、「人口動態統計保管統計表(政府統計の総合窓口(e-Stat))」より。
女性の年齢階級別出生率は、「住民基本台帳データ」(各市町)より。

(4) 令和5年市町村別合計特殊出生率

	令和5年	平成30～令和4年	増減
八重山管内	1.58	1.95	△ 0.37
石垣市	1.61	1.96	△ 0.35
竹富町	1.49	1.88	△ 0.39
与那国町	1.43	1.76	△ 0.33

出典：「平成30～令和4年人口動態保健所・市町村別統計」(政府統計の総合窓口(e-Stat))より。

(参考)

	令和5年
沖縄県	1.60
全国	1.20

出典：「令和5年(2023)沖縄県人口動態統計(確定数)の概況」(沖縄県HP)より。

5 健康危機管理対策

健康危機管理とは、「医薬品、食中毒、感染症、飲料水その他何らかの原因により生じる国民の生命および健康の安全を脅かす事態」に対し、健康被害の発生予防、被害の拡大防止、治療等に関する業務を計画・準備・対応・評価する公共保健上の取組のことをいい、八重山保健所は地域における健康危機管理の拠点として位置づけられている。

(1) 令和6年度管内健康危機管理対策連絡会議

健康危機の発生に備え、平時から管内の関係機関との情報交換を行い、迅速、かつ、適切な即応体制を確保することを目的に年2回開催している。

構成員

市町村、消防本部、医療関係、警察署、教育関係、関係行政機関等

開催日時	内容	参加人数
令和6年 7月3日(水) 14:00~16:00	(1)八重山保健所健康危機対処計画(感染症編)の策定について (2)新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の状況について (3)八重山保健所管内における食中毒発生状況について	21名
令和7年 2月28日(金) 14:00~16:00	(1)管内における健康危機管理対策について (2)2月2日実施 与那国町防災訓練の成果・課題等について (3)管内における感染症発生状況及び健康危機対処計画(感染症編)の進捗について (4)管内における食中毒発生状況について	16名

(2) 令和6年度災害医療調整部会

令和6年より、大規模災害発生時に想定される健康危機に備え、平時において管内の関係機関との情報交換を行い、迅速、かつ、適切な医療即応体制を確保する目的で開催している。

構成員

災害医療コーディネーター、災害薬事コーディネーター、県立八重山病院(災害拠点病院)、八重山地区医師会、管内市町(災害危機管理担当課、消防担当課、保健衛生担当課、福祉担当課等)、警察署、消防本部、関係行政機関等

開催日	内容	参加人数
令和6年 9月4日(水) 10:00~11:40	・災害医療調整部会の設置・運営について ・今後の部会の流れ(ロードマップ)について ・災害時要配慮者への支援準備について ・令和6年度石垣市民防災訓練について	29名
令和6年 11月13日(水) 14:00~15:30	・八重山地区災害等対応保健医療福祉機関情報集について ・災害時要配慮者への支援準備について ・令和6年度与那国町防災訓練計画について	24名

(3) 令和6年度所内健康危機管理対策委員会

所内における健康危機管理を総合的、組織的、機動的に推進するため、所内健康危機管理対策委員会を設置した。毎月1回開催し、次の事項を所掌している。

- ①健康危機に関する情報の集約及び各班の対応事項の調整・明確化に関すること。
- ②平時における健康危機管理業務の進行管理に関すること。
- ③緊急事態に対する想定訓練に関すること。
- ④健康危機に関する的確、迅速な調査の実施及び初動体制の強化に関すること。
- ⑤本庁関係課、関係機関への通報及び連絡調整に関すること。
- ⑥管内健康危機管理対策連絡会議に関すること。
- ⑦その他健康危機管理に必要な事項に関すること。